

ぼくのせい長

牛久保小・2 細井 暦

ぼくは、今、ならいごとで、キックボクシングをやっています。ならいはじめて、一年と六か月がたちました。キックボクシングはむずかしいけれど、あきらめずにつづけることで、せい長したぞとかんじるときがあります。

まず、あいさつについてです。さいしよは、はずかしくて、一人であいさつができませんでした。しかし、先生やキックボクシングのお兄ちゃんたちが元気なあいさつを教えてくれたおかげで、今では、町を歩いているときでも、自分からあいさつができるようになりました。学校でも、友だちや先生にあいさつをしています。あいさつをすると、すぐ気もちがよくて、あいさつをしてよかったなとかんじます。これからもしつかりとあいさつのできる人でいつづけたいと思います。

つぎに、体の強さです。ならいはじめたときよりも、体が強くなってきたような気がします。なぜなら、もてなかつたものももてるようになったり、今までよりもごはんがたくさん食べられるようになったりしたりしたからです。また、れんしゅうをがんばった後は、おなかがすくので、今まで食べられなかったものが食べられるようになりました。これからもたくさん食べて、体をもっともつと強くしていきたいです。

さい後は、ど力ができるようになったことです。ぼくのゆめは、

ゆう名なキックボクシングのせん手になることです。ゆめをかなえるために、れんしゅうを休まずにがんばっています。れんしゅうは、楽しいこともたくさんあるけれど、いたいこともつらいこともあります。でも、ジムには友だちがいるので、どんなにいたくてつらくてもがんばることができます。また、パパとれんしゅうしていると、「パンチが強いね。キックも強くなってきたね。」と言ってくれるから、ぼくはうれしくて、もつともつとがんばりたいという気もちになります。これからもれんしゅうをがんばって、いつかゆめをかなえたいです。

ぼくの通っているジムには、強いお兄ちゃんがたくさんいて、日本チャンピオンのベルトを何こももっています。とても強いのに、いつもやさしく教えてくれたり、いろいろなお話をしてくれたりします。パパは、ぼくに、

「ぜったいに自分からけんかをしてはいけないし、どんなにつらいときでもわらいなさい。」

とよく言います。なんとなくその気もちが分かるようになってきました。本当に強い人は、きつとだれにでもやさしくできて、いつもわらってられる人なのかなと思います。これからも、たくさん楽しいこと、つらいこと、くやしいこと、うれしいこと、かなしいことがあると思うけれど、強くてかつこい男になれるように、ちようせんしたり、ど力したりして、さらにせい長していきます。